

# 釧路腎会ニュース

No. 25

541015

釧路地方腎友会発行

釧路市帯広町4番21号

市立釧路総合病院・透析室内

(前号よりつづき)

## 「川湯一泊旅行感想記」

## 「次回は多勢参加して」

市立病院 東 哲 司

その日は透析を終え、マイクロバスで釧路を出発、目的地へ、途中、硫黄山、磨周湖などを見学し、川湯へ向った。

宿に着くと、各自「フロ」に入ったり、外に散歩に出かけたりして時間を過ごしたあとで夕食になり、食事の後、その場で会合を開き、他地区の腎友会の人と、各地区のなやみ、開脚点、活動状況などを話し合い、一日目は終った。

次の日は、10時に宿を出発して釧路へと向い、途中0.5牧場にて昼食となった。いつも食欲があまりない人も「気分が変」わり、皆んなで「ワイワイ」言いながら、おなか一杯食事が出来、楽しい一泊二日の旅行が終った。

私が期待していた同じ病気の人と「いろいろな話をしたり」皆んなで楽しく「食事」が出来たことが一番思い出になりました。

これからも、この様な催しを数多く行なつてほしいし、今回参加出来なかつた人も次は参加してほしいと思います。

## 「一泊旅行の感想文」

市立病院 金 井 英 雄

9月1・2日に一泊旅行に行きましたが、透析の後でも疲れませんでした。

最初は「磨周湖」に寄りました。ちよつと曇つていてあのすばらしい「七色」は見えませんでした。

次に「硫黄山」に寄つて「タマゴ」を食べて、ホテルに行きました。夕食は「まあまあ」で一寸「シヨツパ」かつたです。でも、がんばつて食べました。

帰りは昼食に「バイキング」を食べました。「焼肉」を「バンバン」食べて「タンパク」が充分すぎるぐらい取れました。多分「血圧」もかなりあがつたと思います。

ほんとうに楽しい旅行でした。来年はどこに行くか楽しみです。

## 「幹事を担当して」

林田クリニック 早 坂 要

皆様に満足のいくお世話が出来ませんでした。皆様の協力により多勢の方々に出席していただき、交流会が有意義に終了した事に対し、厚くお礼申し上げます。

交流会の幹事は来年から三地区持回りで実施する事になり、来年は「帯広」さんが担当します。幹事の仕舞(準備)が順調に進みますよう皆様方の協力を切にお願ひ申し上げます。

幹事の一番苦勞することは、参加人員の定まらない事です。私達の人生は「爆弾」をかかえているようなもので、いつ爆発するかわからない。出席と申し込んでおき

、当日になつて欠席となる事もあります。せめて欠席がわかつたら午前中には連絡をいただきたい。

また、各地区の集合にしても欠席となる場合は、連絡場所を定めておき、出発前には連絡しよう。連絡がないともう少し待ちましよう、無用の時間を待たなければなりません。

交流会(各地区会合にしても同じ)が有意義に終了するか、しないか、幹事の頑固いかんです。これも皆様の協力なくして達成できません。皆様一人一人が主人公です。どうぞよろしく協力方お願い申し上げます。

林田クリニックの先生及び部長さんにはお忙しい中を参加していただき、交流会の意義を一層深くしていただき、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

## 「道東三地区交流会

## 有意義に終る」

九月一日、各地区からそれぞれが集まり、午後六時より釧路地区の早坂事務局長の司会により各地区代表の挨拶、各人の自己紹介のあと、帯広の梅津会長の音頭により「末長く健康」である事を祈念し「カンバイ」をし、会食となりました。

会食の後、会合に入り各地区の実状報告、来年以降の交流会の方法、場所等を討議し、自由な話し合いとなりました。

特に今回は釧路の林田先生が参加して下さつたので病気に対する専門的な質議が飛び出し

- ① 透析のスタッフは何人位が適当か
- ② テクニシヤンの職務範囲は
- ③ 死が明らかな場合でも透析は必要か
- ④ 透析後、足が動かなくなつた人が居るけれども、治る可能性があるか

などの質議が出され、それぞれについて林田先生が懇切丁寧な説明をして下さいまして即席の透析勉強会のように、非常に有意義な会合で終わりました。

林田先生も帯広・北見の患者さんには始めて合う事でもあり、透析後7、8年の人が健康人以上に顔色が良く、ヘマトが高いことには驚いていました。

自由時間には日頃の苦勞話や経験談を話し合い、温泉で「ハダカの付き合い」をした一泊の交流会も終り、来年は阿寒湖畔で再会する事を楽しみに各自それぞれの家路についた。

## 患者数

帯広 51名

北見 61名

釧路 63名

ここでニュースを四題お知らせします。

留萌水無人（みなと）腎友会より

◎かねてより留萌市立総合病院内に人工腎臓透析室の拡張および増床を留萌市議会に請願のところ、このたび採択となり、来る昭和54年4月新築着工、7月完成予定となりました。

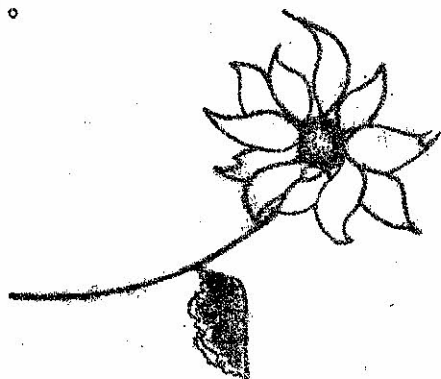
誠によるこほしい事でこれが完成の時は、留萌地方に在住しながら他の都市でやむなく透析を受けている患者さんたちも自宅より通院が可能になるでしょう。

生活的にも職業的にもお悩はありますが、その悩みがいく分でも緩和されればこれにすぎるものはありません。

◎今年5月発病（昭和53年）。現在、週3回/回5時間30分の透析を受けながら自家営業として食品販売業に従事（健康時は消防組合職員）しておられる簿木理氏（30才）がこの度結婚なさることになりました。

新婦は種畑京子さん（22才）。とても美しい方と聞いております。1月28日挙式予定です。彼女、透析治療を度々見学し暖かい理解を示し目下食事等の栄養学、透析食のメニュー等けん命に猛勉強中です。こよなく良き花嫁さんとなられることでしょう。

私たち腎友会一同も喜びをもって吉日をまっております。皆様もこの若い二人に幸多かれと祈って下さい。



札幌発……

道腎協事務局長、阿部隆氏が去る11月12日、腎友会の仲間である渡辺千鶴子さんとご結婚されました。

細川氏、留目氏がお祝いに出席されました。両氏のお話によりますと、お二人共幸せいっばいのとても素晴らしい祝宴とのことでした。

励まし合って明るい家庭を……と声もつまりがちのお二人でした。

皆さんからの祝電、心からお礼申し上げます。



北見発……

北見ブロックオホーツク腎友会の会長 中原弘昌氏が12月22日、かぜで入院中のところ突然お亡くなりになりました。中原氏は昭和53年5月から道腎協に入会され、以来精力的に活動され持ち前の明るくたのもしいお人がらに私たちも力強く感じていたところでした。

今回の通院交通費の件についても小堀道議に力強く働きかけ、釧路の伊藤議員の働きと伴ってこの度の採択に至った仕業です。生前の中原氏の会活動に対する情熱と誠意に対し会員一同よりご哀悼申し上げます。

意志（遺志）を引き継いでがんばって行きましょう。